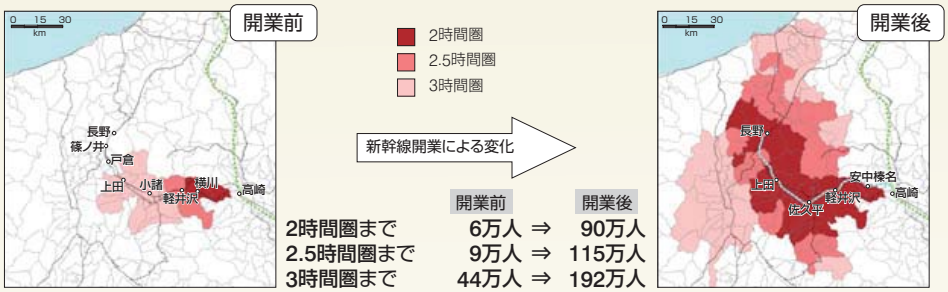
整備新幹線開業後の効果

1-1 多くの人が、より速く移動できるようになりました。

新幹線が整備されて、各新幹線沿線の街から例えば東京や福岡へ、より多くの人がより速く移動できるようになりました。

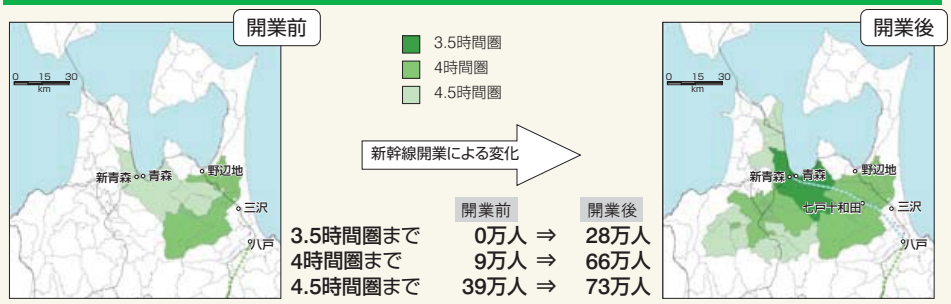
北陸新幹線（高崎・長野間） 各市町村から東京駅までの所要時間の変化



	開業前		開業後
2時間圏まで	6万人	⇒	90万人
2.5時間圏まで	9万人	⇒	115万人
3時間圏まで	44万人	⇒	192万人

（注）2.5時間圏まで＝（2時間圏＋2.5時間圏）の人口累計　3時間圏まで＝（2時間圏＋2.5時間圏＋3時間圏）の人口累計
〈資料〉人　　口：平成22年国勢調査結果（平成21年1月現在の市町村区分で集計）
所要時間：時刻表（開業前は平成9年4月号、開業後は平成9年10月号）をもとに各市役所･町村役場から新幹線駅までのアクセス時間を考慮

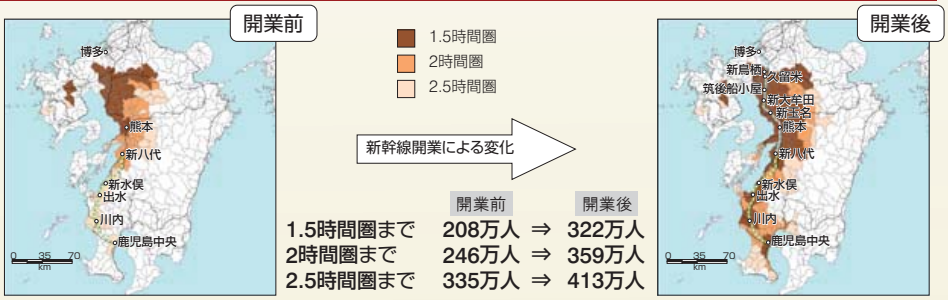
東北新幹線（八戸・新青森間）各市町村から東京駅までの所要時間の変化



	開業前		開業後
3.5時間圏まで	0万人	⇒	28万人
4時間圏まで	9万人	⇒	66万人
4.5時間圏まで	39万人	⇒	73万人

（注）4時間圏まで＝（3.5時間圏＋5時間圏）の人口累計　4.5時間圏まで＝（3.5時間圏＋4時間圏＋4.5時間圏）の人口累計
〈資料〉人　　口：平成22年国勢調査結果（平成24年3月現在の市町村区分で集計）
所要時間：時刻表（開業前は平成22年3月号、開業後は平成24年3月号）をもとに各市役所･町村役場から新幹線駅までのアクセス時間を考慮

九州新幹線（博多・新八代間）各市町村から博多駅までの所要時間の変化



	開業前		開業後
1.5時間圏まで	208万人	⇒	322万人
2時間圏まで	246万人	⇒	359万人
2.5時間圏まで	335万人	⇒	413万人

（注）2時間圏まで＝（1.5時間圏＋2時間圏）の人口累計　2.5時間圏まで＝（1.5時間圏＋2時間圏＋2.5時間圏）の人口累計
〈資料〉人　　口：平成22年国勢調査結果（平成24年3月現在の市町村区分で集計）
所要時間：時刻表（開業前は平成22年3月号、開業後は平成24年3月号）をもとに各市役所･町村役場から新幹線駅までのアクセス時間を考慮